

**製品名: RGS12 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17090**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	160kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RGS12
別名	RGS12; Regulator of G-protein signaling 12; RGS12
遺伝子 ID	6002.0
SwissProt ID	O14924
免疫原	抗血清はヒト RGS12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

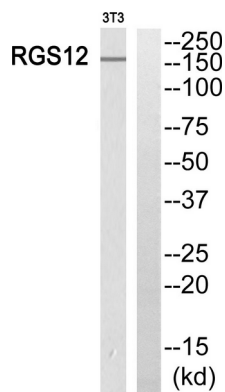
**背景**

この遺伝子は、「Gタンパク質シグナル伝達調節因子 (RGS)」遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、Guanosin triphosphatase (GTPase) 活性化タンパク質としてだけでなく、転写抑制因子としても機能する可能

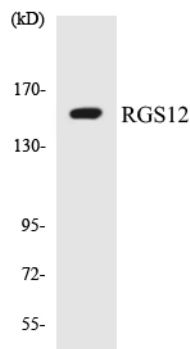
性があります。このタンパク質は腫瘍形成に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが同定されています。他にも選択的スプライスバリエーションが報告されていますが、その生物学的性質は解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能:Gタンパク質αサブユニットのGTPase活性を増加させることでシグナル伝達を阻害し、不活性なGDP結合型にします。、PTM:DNA損傷時にリン酸化されます(おそらくATMまたはATRによる)。、類似性:GoLocoドメインを1つ含みます。、類似性:PDZ(DHR)ドメインを1つ含みます。、類似性:RGSドメインを1つ含みます。、類似性:RBD(Ras結合)ドメインを2つ含みます。、組織特異性:アイソフォーム3は脳特異的です。、

## 研究分野

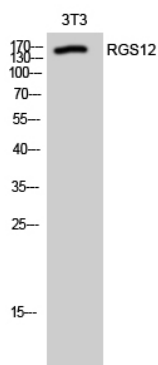
## 画像データ



RGS12抗体のウェスタンブロット解析。右レーンがRGS12ペプチドでブロッキングされている。



RGS12抗体を使用したHUVEC細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



RGS12ポリクローナル抗体を使用した3T3細胞のウェスタンブロット分析。

